

公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2016年5月15日（日） 13:00～16:00

場 所：東北大学東京分室 会議室 A （千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F）

出席理事：市川、望月、半田、山下、中村、柴田、熊谷、嶋作、青木、佐藤、山岡、政井、寺田、町田（以上14名）

出席監事：松原、渡邊（以上2名）

欠席理事：須佐（以上1名）

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、理事出席者が14名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：市川隆

署名人：市川隆、望月優子、半田利弘、松原英雄、渡邊鉄哉

I-2 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2016年3月14日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 入退会報告（資料3、中村）

2016年3月5日より2016年5月10日までの間の会員変動が報告された。仮承認された新入会は正会員22名、準会員6名で、準会員から正会員への移籍5名、正会員から準会員への移籍16名、退会者は正会員109名、準会員52名、団体会員2名、賛助会員退会1名であった。

II-2 事業担当理事の近況

・年会（佐藤）

次回の年会の準備を着々と進めている。企画セッション2件、プログラム編成委員会等の日程を決めた。次回から非会員の講演ができなくなるので、アナウンスを早めにする予定である。

・月報（青木）

順調に日々の出版編集作業を進めている。特集も予定どおり出す予定である。次の特集は「ひので特集」。ホームページ担当が変わり、現在引継ぎ中。

・庶務（山下）

2015年度の事業報告書を作成し、4月に監査を受けた。2016年度の事業計画・予算書等を内閣府に報告した。年会の開催地立候補の募集を行った。

・会計（柴田）

2015年度の決算報告書を作成し、監査を受けた。助成事業の財源が少なくなって

おり、寄付金のお知らせをホームページに掲載した。予算に関して、各委員長に担当事業の決定額および前年度の使用状況を知らせることにした。

- ・天文教育（山岡）

ジュニアセッションを行い盛況だったが、少なかつた研究者の参加を促していきたい。講師紹介プログラムについては問い合わせが何件か来ているが、増加傾向にはない。

- ・全国同時七夕講演会実施委員会（代理報告・山岡）

七夕講演会のお知らせが多少遅れている。例年通り、募集を行う予定である。日本学術会議から後援の手続きを進めている。

- ・日本学術会議（代理報告・山岡）

大学教育の質保証から派生した天文分野の独自文書の取りまとめは進んでいない。

- ・PASJ（嶋作、資料9）

2017年度の購読料を決定した。副題の設定について議論をした。

今後の年会の進捗状況報告

- ・今後の年会の開催地の準備状況

1. 愛媛大学（寺島）

順調に準備を進めている。会場の建物の5階が改修中になる予定なので、階下の部屋では騒音が気になる可能性がある。ポスター会場は1フロアで賄える。懇親会場は生協で300名定員。次の月報に案内を掲載する。松山観光コンベンション協会に申請していた80万円の助成金が承認された。愛媛県観光物産協会に助成金の申請はするかどうかは未定。公開講演の内容を決定した。今後、広報を進める予定である。記者会見についても地方の新聞社等に連絡する予定である。キャリア支援委員会から進路相談のためのスペースの使い方に関する質問・要望があった。年会中の公式行事以外の集会のあり方についての議論があった。

2. 九州大学（町田）

福岡コンベンションビューローから40万円の助成金が決定。部屋の本予約を今夏にする予定。公開講演会について、県のこども未来少年課に協力をお願いする予定。チラシなどの作成が依頼できる。懇親会は生協で行う。ポスターセッションの場所を変更するかもしれない。JR博多駅からのバスの増発を計画したが大幅な増発は難しいことが判明。地下鉄・バスが主な移動手段になるだろう。

II-3 日本天文学会 事務所職員就業規則改正案について（市川、資料5）

6月初旬に職員に就業規則の改正の説明をする予定。次回の理事会で承認したいので、理事には持ち帰って検討いただき意見を伺いたい。

II-4 PASJ の副題の設定（嶋作、資料9）

海外からの投稿の促進の一環として、日本(Japan)の入らない副題を新たに付けた

いと考えている。

II-5 2018 年秋季年会および 2019 年春季年会の開催地について（山下、資料 12）

立候補の募集を行い、2018 年秋季年会に立候補があった。2019 年春季年会は現段階では立候補はない。

II-6 事務所の近況報告（佐藤）

庶務理事・会計理事と協力し、2015 年度の事業報告書・決算報告書を作成した。2016 年度事業計画・予算を内閣府に提出した。内閣府の立ち入り調査について、希望日（2016 年 6 月 6 日）を先方に伝えたが、希望日まで 3 週間切った現在まだ連絡がない。

II-7 各賞の賞状作成について（熊谷）

各賞の賞状について手書きから印刷にしたい。2016 年度の賞状を印刷にすると、10 万円ほど経費削減される。

II-8 過半数代表者からの意見（市川）

黒岩事務長補佐退席ののち、学会事務所職員の過半数代表者からの定年に関する意見が紹介され、自由な意見交換を行った。

II-9 PASJ「論文執筆セミナー」の開催について（嶋作、資料 9）

現在、改定を進めている「投稿の手引き」の完成に合わせ、「論文執筆セミナー」を、可能であれば、年会中に何らかの枠を使って開催したいと考えている

III. 議題

III-1 公益社団法人日本天文学会 2015 年度事業報告書の承認（山下、資料 6）

おおむね例年と同じ活動であったことが説明され、全会一致で承認された。

III-2 公益社団法人日本天文学会 2015 年度決算報告書の承認（柴田、資料 7）

全会一致で承認された。

III-3 衛星設計コンテスト委員の交代（市川、資料 8）

旧委員 井上一から新委員 牧島一夫に交代することが全会一致で承認された。

III-4 新規入会者の承認（資料 3、中村）

2016 年 3 月 5 日から 2016 年 5 月 10 日まで、正会員入会者 22 名、準会員 6 名の申請があり、全会一致で承認された。

III-5 PASJ の掲載料の正会員料金の設定（嶋作、資料 9）

現在、掲載料は会員種別を問わず、ページあたり 4300 円としているが、正会員は 4300 円、それ以外は 6000 円としたいとの提案があった。以前は会員種毎に掲載料を設定していたが、OUP への変更に伴い OUP の投稿システムの都合で一律の金額にしていた。ところが、このほど、OUP のシステムの変更により会員種毎に掲載料を設定できるようになったとの経緯が説明されたのち、全会一致で承認された。

III-6 天文遺産顕彰制度の検討（半田、資料 10）

天文遺産顕彰制度内規案が提案され、パネル、認定証の経費等の説明があった。

内規を制定するには日本天文学会委員会等に関する細則を改正する必要性が指摘され、半田副会長からの細則の改正案を代議員総会に提案することが、全会一致で承認された。

III-7 2018年秋季年会の開催地について（山下、資料12）

2018年秋季年會を、立候補のあった機関の主催で開催することが全会一致で承認された。

[資料リスト]

- 資料1 理事会出欠表
- 資料2 前回理事会（2015/3/14）議事録
- 資料3 新規入退会・移籍者などの報告
- 資料4 監査報告書
- 資料5 日本天文学会 事務所職員就業規則改正案
- 資料6 公益社団法人日本天文学会 2015年度事業報告書
- 資料7 公益社団法人日本天文学会 2015年度決算報告書
- 資料8 衛星設計コンテスト推進委員会の委員交代について
- 資料9 PASJ 編集委員会からの報告と議題
- 資料10 日本天文学会天文遺産（仮）内規（案）
- 資料11 学会事務所職員過半数代表者からの意見（机上配布）
- 資料12 日本天文学会・年会開催地立候補について

2016年 5月15日

会 長：市川 隆 印

副会長：望月 優子 印

副会長：半田 利弘 印

監 事：松原 英雄 印

監 事：渡邊 鉄哉 印